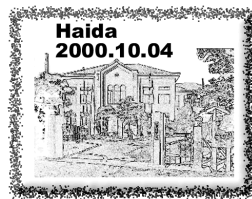


平成11年 (1999年)

5.25
No.79

広報 はいだ



津山市立林田小学校
PTA広報部

林田小 PTA会長
末澤 修

平成十一年度のPTA活動がいよいよ始まりました。会員の皆様、地域の皆様方におかれましては、平素より林田小学校の子ども達そしてPTAに対しまして、あたたかい御支援、御協力を賜り心よりお礼申し上げます。

一〇〇〇年は、林田小学校創立百周年の年であります。たまたま、そういう年に開われる自分達であります。林田小に関わった全ての人(子ども達、卒業生、この地にお嫁さ

んに来て子どもが通学したお母さん方、地域の方々、先生方)が林田小の百才の誕生日をみんなでお祝いし、何らかの形で参加していただけたら幸いです。

無理なお願ひにあがる事もあるかと思われませんが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員の皆様、そして今年度役員を引き受けて下さった皆様、お世話になります。本当にありがとうございます。一年間いろいろな事業や行事があります。子ども達の事を中心に、先生方と保護者が共に考え、よく話し合って、明るい

家庭、楽しい学校、住みよい地域になるよう、そして、子育てを通して、私達保護者も成長していきましょ。みんなが楽しめる、気軽に参加できることを一つずつやっていきな

がら、互いに助け合い一年終わって、あるいは、何年かたつて、「あーあの時は、忙しかつたけど、楽しかったな。すばらしい友ができたな。」と思えるようなPTA活動になれば幸いです。不器用ですが、未熟者ですが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

笑顔と笑い声がいつぱい 林田小



「当たり前」のたいせつさ

林田小学校 校長

原田 圭子

五月晴れの空の下、キラキラと輝く若葉に、幼な子の姿を重ね合わせて思うとき、やがて濃い緑へと葉を茂らせ、大樹へと成長するであろう楽しみを感じずにはおられません。

林田小学校も明治三十四年十月四日この地に誕生し、爾来百年、地域に深く根を張り、学区の皆様のご支援をいつぱいに受けて、豊かに葉を茂らせ多くの人材を輩出しながら大樹へと成長しつづけ

てまいりました。これも多くの皆様の温かいご支援とご理解の賜物と、深く感謝申し上げます。

来年は、そのおめでたい百年のお誕生日を迎えます。子供達はもちろん、保護者の皆様、地域の皆様とともに心のこもったお祝いをしたいものだと思っております。どうぞ多くの皆様のお力添えとご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

さて、年度のはじめにあたり、日ごろ感じていることの一端を記してみようと思ひます。

私たちの今のくらしを振り

返ってみますと、氾濫する情報と、ものの豊かさで便利さの中にとっぷりと浸かり切っているといえましょ。そのような中で、しばしば「子育て」の難しさに直面し悩み、困惑します。一方それに追い打ちをかけるようにマスコミは、事件や評論を、これでもかこれでもかと提供し、子育て真っ最中の親御さんたちの頭をますます混乱させているのではないでしよか。

そんな折、私はこの好季節のなかで、人やものが「育つ」「育てる」の原点を思わずにはいられません。

野放しに「しぜん」がいい

とは思いませんが、「当たり前」のことを今一度思い起こし、大切にすることの必要を感じます。

例えば、勉強では「読み書きそろばん」に代表される基礎基本の大切さ、「よく遊びよく学ぶ」ことの必要性、「親の背中を見て育つ」家庭教育の重要性等々。

この難しい時代を乗り切るため、私たち大人は、それぞれの場で心を開き、手を取り合い、知恵を出し合って、キラキラ輝く若木をたくましい大樹に育てる楽しみを共有したいものです。



みんなで迎えよう 林田小学校百才の誕生日

2000年10月4日

楽しく活動PTA

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|-----------|----------|-----------|------------|
| 林田小学校 PTA役員 | 会長 末澤 修 | 副会長 須江 誠 | 監査 山形 嘉啓 | 監査 安藤 和子 | 監査 尾藤 治 | 顧問 西村 昌泰 | 顧問 中山 登喜子 | 顧問 西野 泰生 | 顧問 中原 真由美 | 顧問 二年団(学校) |
|-------------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|-----------|----------|-----------|------------|

カウントダウン

平成十一年五月十九日に、創立百周年まであと五〇〇日になりました。五〇〇日のカレンダーを書いた原田さんの夢は、自分の店を持つこと。子ども達の素直な夢。いつまでも大切にしたいものです。

